

VERIFICATION STATEMENT OF
GREENHOUSE GAS ASSERTIONS

Statement No.: SS006-2021-GHG-KOB-DNV

Page 1 of 2
initiate reporting ofFurukawa Electric Group
GHG Inventory Data Report (Year 2020)

< 検証の範囲 >

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社は古河電気工業株式会社より「2021 年度古河電エグループ環境保全データ報告書」(以下「GHG 報告書 2021」と称す)に関して以下の範囲の第三者検証を依頼された:

古河電エグループ GHG 排出量: Scope 1、2 及び 3 (Category 1, 2, 3, 6, 7)

< 算定検証基準と GHG プログラム >

温室効果ガスの特定・計算・監視・報告の基準は ISO14064-1:2006 及び古河電エグループ環境保全データ算定報告ガイドラインである。また検証の基準は ISO 14064-3:2006 である。

< 検証声明 >

DNV の限定的保証水準に基づく意見として、古河電エグループの GHG 報告書 2021(2021 年 6 月 28 日付)における GHG 算定の主張に関して、同社の GHG 排出量を適正に反映していないことを表す誤りは認められなかった。

< 検証プロセスと方法論 >

上記検証基準への適合性は GHG 報告書、関連する文書記録類及び提供された十分な証拠のレビュー、要員へのインタビューによって確認された。

The verification has been performed under
the supervision of:

Independent Validation Verification Body:
DNV Business Assurance Japan K.K.



Akira Sekine, GHG Verifier
2 July 2021



Naoki Maeda, Management Representative
2 July 2021

VERIFICATION STATEMENT OF GREENHOUSE GAS ASSERTIONS

Statement No.: SS006-2021-GHG-KOB-DNV

Page 2 of 2

<温室効果ガス排出量の算定>

古河電工グループの「GHG 報告書 2021」の対象期間は 2020 年 4 月 1 日より 2021 年 3 月 31 日である。DNV の検証意見として当報告書の温室効果ガスの算定は、現実性・透明性・測定可能性があるものである。

<組織境界>

支配力基準 出資比率基準

<検証された温室効果ガス>

CO₂ CH₄ N₂O HFCs PFCs SF₆ NF₃

<検証された温室効果ガス排出量>

合計直接排出 : Scope 1	143,474 tCO ₂ e
エネルギー由来の間接排出 : Scope 2 ロケーション基準	531,458 tCO ₂ e
エネルギー由来の間接排出 : Scope 2 マーケット基準	504,134 tCO ₂ e
その他の排出 : Scope 3 合計	1,177,499 tCO ₂ e
Category 1	913,649 tCO ₂ e
Category 2	140,270 tCO ₂ e
Category 3	94,492 tCO ₂ e
Category 6	6,298 tCO ₂ e
Category 7	22,790 tCO ₂ e

上記排出量はすべて検証済みである。

<検証意見>

- 無限定適正
 限定適正
 意見差し控え

DNV は、本検証業務に限らずグループレベルで古河電気工業株式会社と財務上の関連性が無いことを表明する。